

ExLook Online 管理者マニュアル

第八版 2021 年 12 月 24 日

株式会社 ビービーシステム

Copyright (c) 2016-2021, Big Bang System Corporation. All rights reserved.

本書に記載された事項で発生したいかなる事態もその責務を負いません。また、本書は作成日時点での情報をもとに記述しています。(株)ビービーシステムは予告なく本書の内容を変更する事があります。

その他、本書に記載されているサービス名、製品名または会社名は、各社の商標または登録商標です。本書では TM マーク、R マークは明記していません。

目次

はじめに.....	1
1 初期設定について.....	2
1.1 ExLook 管理ツール.....	2
1.1.1 ログオン.....	2
1.1.2 サイト設定.....	3
1.1.3 共通設定.....	11
1.2 動作確認.....	12
1.2.1 URL について.....	12
2 セキュリティ.....	14
2.1 接続ユーザーの使用.....	14
2.2 拒否ユーザーの使用.....	15
3 ExLook Online 機体認証オプションについて.....	16
3.1 機体認証管理者ができること.....	16
3.2 機体認証管理ツール.....	16
3.2.1 ログオン.....	16
3.2.2 サイト設定.....	17
3.2.3 ユーザー管理.....	20
4 端末登録用ページの管理.....	21
4.1 登録用ページの有効化(ホワイトリスト管理).....	21
4.2 登録端末情報(ホワイトリスト状態)の表示.....	22
4.3 登録端末の無効化.....	24
4.4 登録端末の無効化の解除.....	24
5 端末情報ページの管理.....	25
5.1 ユーザー状態の変更.....	25
5.2 ユーザー情報一覧の詳細情報.....	27
5.2.1 ユーザー状態.....	27
5.2.2 抽出条件・検索条件.....	28
6 ホーム領域検出ポリシーの構成.....	29
6.1 前提条件.....	29
6.2 ホーム領域検出ポリシーの作成手順.....	30
6.3 ホーム領域検出ポリシーの削除手順.....	30

はじめに

本ガイドでは、ExLook Online について、管理者が実施できる内容を記載しています。

フィーチャーフォン(携帯電話)版 ExLook Online 利用者マニュアルについては、別紙「ExLook Online 利用者マニュアル」をご参照ください

スマートフォン版 ExLook Online 利用者マニュアルについては、別紙「ExLook Online スマートフォン対応版利用者マニュアル」をご参照ください。

※各設定ではオンラインサービス事務局からのメール“[ExLook Online] ご利用準備完了のご案内”を参照する箇所が存在します。

1 初期設定

本章では、ExLook を利用する際に、変更可能なパラメータを記載します。必要に応じて変更してください。

1.1 ExLook 管理ツール

ExLook を利用させるために必要な項目の設定を行います。この設定には ExLook 管理ツールを使用します。

クライアント PC から以下の URL に接続して設定を行ってください。

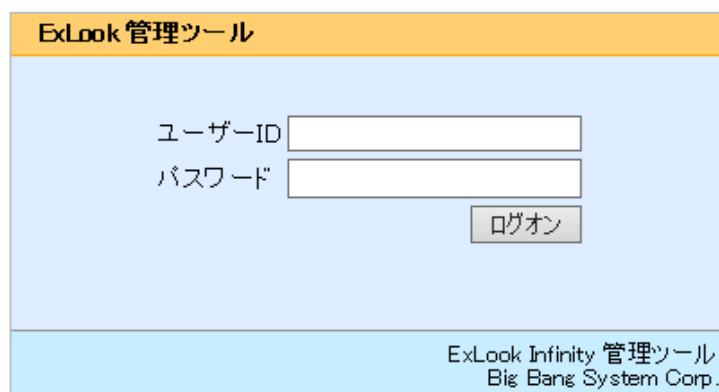
ExLook 管理ツールのログオン画面が表示されます。

URL (例)
https://www.exlook.net/exlookconfig/logon.aspx

1.1.1 ログオン

ログオン画面でユーザーID、パスワードを入力し、「ログオン」を押下すると、ExLook 管理ツールにログオンします。

オンラインサービス事務局から通知された管理者アカウントとパスワードを利用してログオンしてください。



ExLook 管理ツール

ユーザーID

パスワード

ExLook Infinity 管理ツール
Big Bang System Corp.

[画面 1]

1.1.2 サイト設定

正しくログオンすると、サイト設定情報を表示します。

- ExLook サイト名

設定を更新する既存サイト名をリストから選択します。

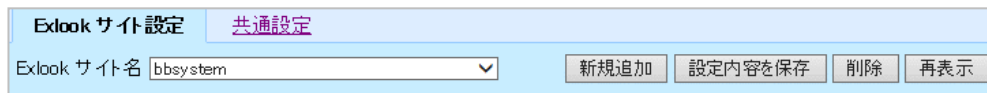
新規にサイトを作成する場合は、「新規追加」ボタンを選択します。

- 新規追加

新しい ExLook サイトを追加します。

- 設定内容を保存

各カテゴリでの設定後に ExLook サイト設定の「設定内容を保存」を押下することで、設定が保存されます。



Exlook サイト設定 共通設定

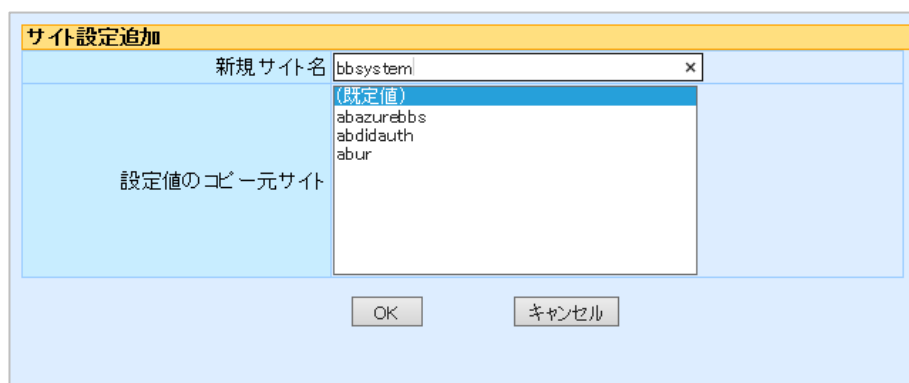
Exlook サイト名: bbsystem

新規追加 設定内容を保存 削除 再表示

[画面 2]

1 サイト新規作成

- 1 「新規追加」ボタンをクリックすると、新規作成画面が開きます
- 2 「新規サイト名」に任意の文字列を入力します
※半角英数字で最大 32 文字まで入力できます。省略および重複する名前は指定できません
- 3 「(既定値)」もしくは、設定値のコピー元となるサイト名を選択します
- 4 「OK」ボタンをクリックします
- 5 サイト設定画面に戻ります



サイト設定追加

新規サイト名: bbsystem

設定値のコピー元サイト: (既定値), abazurebbs, abdidauth, abur

OK キャンセル

[画面 3]

2 基本設定

基本設定	
ExLook サイト名	gsabazurebbs
ドメイン名 (FQDN)	xxxxxxxxxx.onmicrosoft.com
SSL アクセラレータの使用	<input type="checkbox"/> SSL アクセラレータを使用する <input checked="" type="radio"/> 全てのユーザーからの接続を許可する <input type="radio"/> 接続を許可するユーザーをファイルで指定する <div>ファイル</div> <div>参照...</div> <div>ダウンロード</div>
接続の制限	<input type="checkbox"/> 接続を拒否するユーザーをファイルで指定する <div>ファイル</div> <div>参照...</div> <div>ダウンロード</div> <p>※[接続を許可するユーザー]と[接続を拒否するユーザー]の両方に設定された場合、接続を拒否する設定が優先されます。</p>
追加認証	追加認証を使用しない ▼
プライマリ SMTP アドレス	<input type="checkbox"/> ドメイン名 (FQDN) で指定したものと異なるドメインを使用する <div>ドメイン名</div>
モバイルデバイス別の表示機能の有効化	<input checked="" type="checkbox"/> この ExLook サイトで携帯電話向け表示機能を有効にする <input checked="" type="checkbox"/> この ExLook サイトでスマートフォン向け表示機能を有効にする
拡張機能の有効化	<input checked="" type="checkbox"/> この ExLook サイトでリンク表示機能を有効にする <input checked="" type="checkbox"/> この ExLook サイトでお気に入り機能を有効にする <input checked="" type="checkbox"/> この ExLook サイトで階層表示機能を有効にする

[画面 4]

項目名	意味
ExLook サイト名	設定を区別するためのサイト名を指定します。サイト名は ExLook アクセス時に ExLookSITE(SITE)引数として使用します。 半角英数字で最大 32 文字まで入力できます。省略及び重複はできません。
ドメイン名(FQDN)	参照する Exchange サーバーが所属しているドメイン名を完全修飾ドメイン名(FQDN)で指定します。 半角英数字で最大 255 文字まで入力できます。(省略不可)
接続の制限	ExLook への接続制限を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 全てのユーザーからの接続を許可する ExLook への接続制限を行わない場合に選択します。 ● 接続を許可するユーザーをファイルで指定する ExLook への接続を許可する対象のユーザーID を記載したファイルを用意し、ファイルパスを指定します。 ファイルに指定されたユーザーのみ ExLook へのログオンが可能となります。 ※詳細設定方法は「2 セキュリティ」をご参照ください。 ※オプションの利用者制限機能のお申込みが必要です。

項目名	意味
	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続を拒否するユーザーをファイルで指定する ExLook への接続を拒否する対象のユーザーID を記載したファイルを用意し、ファイルパスを指定します。 ファイルに指定されたユーザーは ExLook へのログオン不可となります。 <p>※詳細設定方法は「2 セキュリティ」をご参照ください。 ※オプションの利用者制限機能のお申込みが必要です。</p>
プライマリ SMTP アドレス	プライマリ SMTP アドレスのドメインが[ドメイン名(FQDN)]の指定と異なる場合、「ドメイン名(FQDN)で指定したものと異なるドメインを使用する」のチェックを有効にし、「ドメイン名」を指定します。
モバイルデバイス別の表示機能の有効化	<p>携帯電話向けの ExLook(cLook)を利用する場合、「この ExLook サイトで携帯電話向け表示機能を有効にする」のチェックを有効にします。</p> <p>スマートフォン向けの ExLook(spLook)を利用する場合、「この ExLook サイトでスマートフォン向け表示機能を有効にする」のチェックを有効にします。</p>
拡張機能の有効化	<p>リンク表示機能を利用する場合、「この ExLook サイトでリンク表示機能を有効にする」のチェックを有効にします。</p> <p>お気に入り機能を利用する場合、「この ExLook サイトでお気に入り機能を有効にする」のチェックを有効にします。</p> <p>階層表示機能を利用する場合、「この ExLook サイトで階層表示機能を有効にする」のチェックを有効にします。</p>

3 Exchange 設定

Exchange 設定	
Exchange サーバーの種類	<input type="radio"/> 通常の Exchange サーバーに接続する <input checked="" type="radio"/> Exchange Online に接続する
Exchange サーバー名	outlook.office365.com
自動検出サービス	<input type="checkbox"/> 自動検出サービスを使用する
Exchange サーバーへの接続方法	<input type="checkbox"/> Exchange サーバーへの接続には http のみを使用する
Exchange サーバーの認証方式	自動的に識別する

[画面 5]

項目名	意味
Exchange サーバーの種類	<p>接続する Exchange サーバーの種類に応じて設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通常の Exchange サーバーに接続する ● Exchange Online に接続する
Exchange サーバー名	<p>接続先の Exchange サーバー(CAS サーバー)名を指定します。</p> <p>例) CAS_Server.exlook.com</p>

項目名	意味
自動検出サービス	Exchange サーバーの Exchange Web Service に接続する際に自動検出サービスを使用する場合、「自動検出サービスを使用する」のチェックを有効にします。
Exchange サーバーへの接続方法	ExLook にて Exchange のデータ取得時に http のみを使用する場合、「Exchange サーバーへの接続には http のみを使用する」のチェックを有効にします。
Exchange サーバーの認証方式	Exchange サーバーへの接続時に使用する認証方式を指定します。Office 365 を利用する場合、基本認証（Basic 認証）は「基本認証」、OAuth 認証は「OAuth 認証」を選択します。

「OAuth 認証」を選択した場合、製品管理サイトの[ExLook サイト設定]－[Exchange 設定]で初期設定を行う必要があります。初期設定は管理者アカウントにて1回のみ実施してください。

初期設定の手順等の詳細は「製品管理サイト 管理者ガイド」を参照してください。

Microsoft 365 でフェデレーション ドメインの設定が行われている場合、携帯電話向けの ExLook(cLook)で OAuth 認証を行うには、Azure AD の管理者が Azure AD にて以下の設定を実施する必要があります。

- ① Azure AD Connect を利用し、パスワード ハッシュ同期を有効化する
- ② アプリケーション(ExLook)が Azure AD に対して、ユーザーID とパスワードを使用してフェデレーション ユーザーを直接認証できるよう設定する

本書では、設定②を実施する方法としてホーム領域検出ポリシーを構成する手順を記載しています。手順の詳細は「6 ホーム領域検出ポリシーの構成」を参照してください。


別途、設定②をホーム領域検出ポリシーを構成する以外の方法で実施されている場合は、ホーム領域検出ポリシーを構成する必要はありません。

4 表示設定

表示設定			
一覧画面の添付ファイル表示	<input checked="" type="checkbox"/> 添付ファイルの有無を表示する 【表示文字】 添付有り <input type="checkbox"/> 添付無し <input type="checkbox"/> 【表示位置】 <input type="text" value="件名の前"/>		
週間の予定の先頭	<input type="text" value="日曜日"/>		
連絡先検索項目の既定値	<input type="text" value="表題"/>		
モバイルデバイス別の設定	携帯電話	スマートフォン	
パスワードの表示	<input checked="" type="checkbox"/> 伏せ字で表示する	<input checked="" type="checkbox"/> 伏せ字で表示する	
メニュー画面	<input checked="" type="checkbox"/> ExLook Today を使用する	スマートフォンでは ExLook Today のみ使用できます。	
一覧画面の表示行数	<input type="text" value="10"/> 行 (5~100)	<input type="text" value="10"/> 行 (5~100)	
一覧画面の一行の表示桁数	<input type="text" value="32"/> バイト (16~200)	<input type="text" value="100"/> バイト (16~200)	
詳細画面1ページ目の表示文字数	<input type="text" value="2048"/> バイト (256~10240)	<input type="text" value="10240"/> バイト (256~10240)	
詳細画面2ページ目以降の表示文字数	<input type="text" value="4096"/> バイト (256~10240)	<input type="text" value="10240"/> バイト (256~10240)	

[画面 6]

項目名	意味
-----	----

項目名	意味
一覧画面の添付ファイル表示	<p>ExLook でリストを表示する際に、添付ファイルの有無を表示させる場合、「添付ファイルの有無を表示する」のチェックを有効にします。</p> <p>【表示文字】</p> <p>添付ファイルがある場合および、添付ファイルがない場合に表示する文字をそれぞれ設定します。</p> <p>【表示位置】</p> <p>リストに表示する位置を選択します。</p> <p>上記設定は、携帯電話向けの ExLook (cLook) のみに反映します。</p> <p>スマートフォンではメールにファイルが添付されている場合、 を表示します。</p>
週間の予定の先頭	週間予定表の一覧で、先頭に表示する曜日を設定します。
連絡先検索項目の既定値	連絡先(検索)画面で、連絡先の検索項目の既定値を設定します。
モバイルデバイス別の設定	
パスワードの表示	「伏せ字で表示する」のチェックを有効にすることで、ExLook ログイン時に入力するパスワードが「*」で表示されます。
メニュー画面	<p>「ExLook Today を使用する」のチェックを有効にすることで、ExLook トップ画面が ExLook Today 画面に変更されます。</p> <p>(スマートフォンでは ExLook Today のみの使用のため、画面変更の選択ができません)</p>
一覧画面の表示行数	<p>ExLook でリストを表示する際の行数を設定します。</p> <p>表示行数は、5 - 100 行の範囲で変更できます。</p>
一覧画面の一行の表示桁数	<p>ExLook でリストを表示する際、一行に表示する文字数を設定します。</p> <p>表示桁数は、16 - 200 バイトの範囲で変更できます。</p>
詳細画面 1 ページ目の表示文字数	<p>ExLook で各アイテムの内容を表示する際の 1 ページ目に表示する文字数を設定します。</p> <p>表示文字数は、256 - 10240 バイトの範囲で変更することができます。</p> <p>こちらで設定した文字数を超えると 2 ページ目を表示します。</p>
詳細画面 2 ページ目以降の表示文字数	<p>ExLook で各アイテムの内容を表示する際の 2 ページ目以降に表示する文字数を設定します。</p> <p>表示文字数は、256 - 10240 バイトの範囲で変更することができます。</p> <p>こちらで設定した文字数を超えると 2 ページ目以降を表示します。</p>

携帯電話向けの ExLook(cLook)の設定を変更する場合は「携帯電話」の列を、スマートフォン向けの ExLook(spLook)の設定を変更する場合は「スマートフォン」の列を変更してください。

5 添付ファイル設定

添付ファイル参照設定			
添付ファイル参照	<input checked="" type="checkbox"/> 添付ファイルの参照機能を使用する		
IRL サーバー名	http://exlookir01.exlook.net		ポート 9876
IRL 仮想システム名	ExLook		
表示用ファイルの一時保存場所	フォルダパス		
画像変換を行うファイル拡張子	xls, .xlsx, .doc, .docx, .ppt, .pptx, .pdf, .jpg, .png, .gif, .bmp, .tif		
	ファイルから読み込	ファイル	参照...
テキスト形式で参照を行うファイル拡張子	txt, log		
	ファイルから読み込	ファイル	参照...
モバイルデバイス別の設定	携帯電話	スマートフォン	
表示サイズ(幅)	240 ピクセル(1~1024)	328	ピクセル(1~4096)
表示サイズ(高さ)	320 ピクセル(1~1024)	4096	ピクセル(1~4096)
表示用画像の最大ファイルサイズ	10 キロバイト(1~65)	1000	キロバイト(1~2000)

[画面 7]

項目名	意味
添付ファイル参照	「添付ファイルの参照機能を使用する」のチェックを有効にすることで、添付ファイルの参照が行えます。 ※オプションの添付ファイル参照機能のお申込みが必要です。
IRL サーバー名	Image Resource Locator (以下 IRL)が導入されているサーバー名を指定します。 オンラインサービス事務局から通知した内容を入力してください。 例) http://eq_Server.exlook.com
IRL ポート	IRL サーバーのポートを指定します。 オンラインサービス事務局から通知した内容を入力してください。 デフォルトポートは 9877 です。
IRL 仮想システム名	IRL サーバーの仮想システム名を指定します。 オンラインサービス事務局から通知した内容を入力してください。
画像変換を行うファイル拡張子	画像変換を行うファイルの拡張子を指定します。使用できる拡張子は「.xls」「.xlsx」「.doc」「.docx」「.ppt」「.pptx」「.pdf」「.png」「.gif」「.bmp」「.tif」です。 拡張子の間をカンマ「,」で区切ることで、複数の拡張子を指定できます。 例) .xls,.xlsx,.doc,.docx,.png,.gif,.tif

項目名	意味
テキスト形式で参照を行う ファイル拡張子	テキスト形式で参照を行うファイルの拡張子を指定します。使用できる拡張子は「.txt」「.log」です。 拡張子の間をカンマ「,」で区切ることで、複数の拡張子を指定できます。 例) .txt,.log
モバイルデバイス別の設定	
表示サイズ(幅)	ExLook 画面に表示する画像のサイズ(幅)を指定します。 表示サイズ(幅)は、携帯電話は、1-1024 ピクセルの範囲、スマートフォンは、1-4096 ピクセルの範囲で変更できます。
表示サイズ(高さ)	ExLook 画面に表示する画像のサイズ(高さ)を指定します。 表示サイズ(高さ)は、携帯電話は、1-1024 ピクセルの範囲、スマートフォンは、1-4096 ピクセルの範囲で変更できます。
表示用画像の最大ファイル サイズ	表示用画像の最大のファイルサイズを指定します。 表示用の画像ファイルを、指定した最大ファイルサイズ以内で作成します。 最大ファイルサイズは、携帯電話は、1-65 キロバイトの範囲、スマートフォンは、1-2000 キロバイトの範囲で変更できます。

6 メニュー画面設定

ExLook メニュー画面に表示させるメニュー項目を設定します。

メニュー画面設定		
メニュー項目名	表示名(携帯電話)	表示名(スマートフォン)
受信トレイ(未読)	<input checked="" type="checkbox"/> 受信トレイ未読	<input checked="" type="checkbox"/> 受信トレイ未読
受信トレイ(全件)	<input checked="" type="checkbox"/> 受信トレイ全件	<input checked="" type="checkbox"/> 受信トレイ全件
サブフォルダ(未読)	<input checked="" type="checkbox"/> サブフォルダ未読	<input checked="" type="checkbox"/> サブフォルダ未読
サブフォルダ(全件)	<input checked="" type="checkbox"/> サブフォルダ全件	<input checked="" type="checkbox"/> サブフォルダ全件
送信済みアイテム	<input checked="" type="checkbox"/> 送信済みアイテム	<input checked="" type="checkbox"/> 送信済みアイテム
その他のフォルダ	<input checked="" type="checkbox"/> その他のフォルダ	<input checked="" type="checkbox"/> その他のフォルダ
下書き	<input checked="" type="checkbox"/> 下書き	<input checked="" type="checkbox"/> 下書き
メール送信	<input checked="" type="checkbox"/> メール送信	<input checked="" type="checkbox"/> メール送信
会議出席依頼	<input checked="" type="checkbox"/> 会議出席依頼	<input checked="" type="checkbox"/> 会議出席依頼
本日の予定	<input checked="" type="checkbox"/> 本日の予定	<input checked="" type="checkbox"/> 本日の予定
週間の予定	<input checked="" type="checkbox"/> 週間の予定表	<input checked="" type="checkbox"/> 週間の予定表
月間の予定	<input checked="" type="checkbox"/> 月間の予定表	<input checked="" type="checkbox"/> 月間の予定表
他人の予定	<input checked="" type="checkbox"/> 他人の予定表	<input checked="" type="checkbox"/> 他人の予定表
連絡先	<input checked="" type="checkbox"/> 連絡先	<input checked="" type="checkbox"/> 連絡先
仕事	<input checked="" type="checkbox"/> 仕事	<input checked="" type="checkbox"/> 仕事
メモ	<input checked="" type="checkbox"/> メモ	<input checked="" type="checkbox"/> メモ
不在設定	<input checked="" type="checkbox"/> 不在設定	<input checked="" type="checkbox"/> 不在設定
ログオフ	<input checked="" type="checkbox"/> ログオフ	<input checked="" type="checkbox"/> ログオフ
リンク	<input checked="" type="checkbox"/> [追加リンク設定]で設定	<input checked="" type="checkbox"/> [追加リンク設定]で設定
お気に入り	<input checked="" type="checkbox"/> お気に入り	<input checked="" type="checkbox"/> お気に入り

[画面 8]

項目名	意味
項目の表示	メニュー画面に表示する場合は、項目のチェックを有効にします。
各メニュー画面での表示名	メニュー画面に表示する項目名を指定します。

携帯電話向けの ExLook(cLook)の設定を変更する場合は「表示名(携帯電話)」の列を、スマートフォン向けの ExLook(spLook)の設定を変更する場合は、「表示名(スマートフォン)」の列を変更してください。

7 追加リンク設定

ExLook トップ画面に表示させるリンクを 10 件まで設定します。

追加リンク設定	
	メニュー画面での表示名
1	人事システム
2	物品管理システム
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

[画面 9]

項目名	意味
メニュー画面での表示名	ExLook トップ画面に表示させるリンクの表示名を設定します。 ※件名なしの表示名を登録する場合、スペースを入力します。
リンクする URL	ExLook トップ画面に表示させるリンク先の URL を設定します。

1.1.3 共通設定

設定の変更後に「設定内容を保存」を押下することで設定が保存されます。

1 共通設定

ExLook 管理ツール

[サイト設定](#)
[共通設定](#)

設定内容を保存

再表示

ExLook 共通設定

ログ出力

☒ ログオン時にユーザーIDを記録する

ExLook Infinity 管理ツール

Big Bang System Corp.

[画面 10]

項目名	意味
ログ出力	「ログオン時にユーザーID を記録する」のチェックを有効にすると、ユーザーが ExLook にログオンした際のログを記録します。

1.2 動作確認

1.2.1 URL について

1 ExLook 接続 URL

すべての設定を終了後にサービスを開始すると、インターネット対応携帯電話や Web ブラウザを使用して、ExLook にアクセスすることができます。

○ アクセス URL

Exchange サーバーの認証方式でアクセス URL が異なります。

● 認証方式で「自動的に識別する」または「基本認証(Office365 の場合)」を選択した場合

使用機種	URL
携帯電話用	https://www.exlook.net/exlook/clook/clook.aspx?ExLookSITE=(サイト名)
スマートフォン用	https://www.exlook.net/exlook/splook/splook.aspx?ExLookSITE=(サイト名)

● 認証方式で「OAuth 認証(Office365 の場合)」を選択した場合

使用機種	URL
携帯電話用	https://www.exlook.net/exlook-oauth/clook/clook.aspx?ExLookSITE=(サイト名)
スマートフォン用	https://www.exlook.net/exlook-oauth/splook/splook.aspx?ExLookSITE=(サイト名)

※サイト名を指定しない場合、エラーメッセージが表示されます。

正しく起動すると、各ログイン画面が表示されます。

正しく表示できない場合は、各種設定を再度確認してください。

2 ExLook オプション引数

サイトの指定および、携帯電話からの ID・パスワード入力の手間を軽減するために、URL のオプション引数を用意しています。

各引数は接続先の URL に続いて「?」から始め、各引数は「&」で結合します。

- 引数の順序は前後しても構いません。
- ExLook は引数の値の大文字・小文字を区別します。ご注意ください。

<引数を使用した URL の例>

https://~/exlook/clook/clook.aspx?ExLookSITE=(サイト名)&ExLookID=(ユーザーID)&ExLookPWD=(パスワード)

(サイト名)、(ユーザーID)、(パスワード)は実際の項目に置き換えてください。

引数	意味
ExLookSITE(SITE)	サイトの識別名を指定します。 この指定をつけると、ExLook 管理ツールで作成した該当サイトの設定で ExLook を起動します。
ExLookID(UID)	ユーザーID を指定します。 ここで指定した値は、ExLook ログオン画面のユーザーID 欄に自動的に入力されます。
ExLookPWD(PWD)	パスワードを指定します。 ここで指定した値は、ExLook ログオン画面のパスワード欄に自動的に入力されます。

注意：スマートフォン用 ExLook(spLook)では、パスワードの表示を「伏せ字で表示する」に設定している場合は ExLookPWD 引数は使用できません。

2 セキュリティ

ExLook をより安全にご利用いただくための手法について説明します。

2.1 接続ユーザーの使用

ExLook では、指定したユーザーのみに使用を許可することができます。この設定を行う手順を説明します。

- 1 接続を許可するユーザーID の一覧を、テキスト(.txt)形式で作成します。

- テキストファイルの作成方法

以下のようにユーザーIDとして Exchange Online でご利用されているメールアドレスの@より前の部分を入力します。

例：BBStaro@example.co.jp の場合

BBStaro

接続を許可するユーザーが複数の場合には、接続を許可するユーザーID を以下のように列挙します。

BBShanako

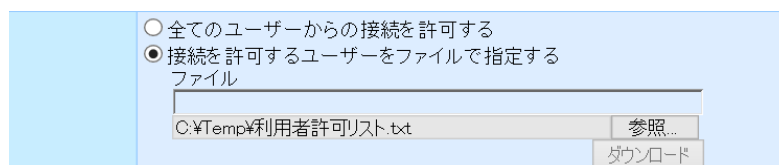
admin

newsletter

info

なお、ExLook 側で正しくユーザーID を判別できるようにそれぞれのユーザーID の後ろで改行を行ってください。

- 2 ExLook 管理ツールを起動し、接続の制限を設定します。
- 3 基本設定の「接続の制限」項目で「接続を許可するユーザーをファイルで指定する」を選択します。
- 4 「参照」をクリックし、手順1で作成したファイルを指定します。



[画面 11]

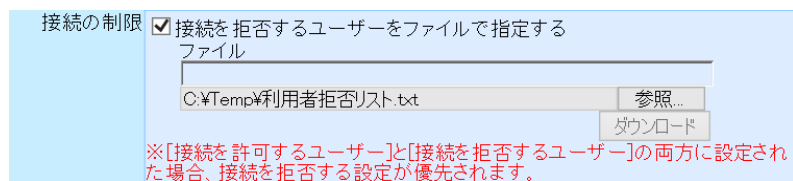
- 5 「設定内容を保存」をクリックします。

設定の終了後は、ファイルで指定したユーザーのみ ExLook を使用することができます。

2.2 拒否ユーザーの使用

ExLook では、指定したユーザーのみをログオン不可にすることができます。この設定を行う手順を説明します。

- 1 接続を拒否するユーザーIDの一覧を、テキスト(.txt)形式で作成します。
テキストファイルの作成方法については、「2.1 接続ユーザーの使用」をご参照ください。
- 2 ExLook 管理ツールを起動し、基本設定の「接続の制限」項目で「接続を拒否するユーザーをファイルで指定する」を選択します。
- 3 「参照」をクリックし、手順1で作成したファイルを指定します。



[画面 12]

- 4 「設定内容を保存」をクリックします。

設定の終了後は、ファイルで指定したユーザーは ExLook を使用することができません。
接続ユーザーと拒否ユーザーの両方に指定したユーザーは、拒否する設定が優先され ExLook を使用することができません。

3 ExLook Online 機体認証オプション

ExLook Online 機体認証オプションでは、利用可能端末に登録した端末のみ、使用を許可することができます。この設定を行う手順について説明します。

3.1 機体認証管理者ができること

機体認証の管理者は、ExLook Online の管理ページにアクセスし、次の設定を行えます。

- 携帯電話・スマートフォン端末を登録するときのパスワードを変更する
- 携帯電話・スマートフォンの端末登録を許可する
- PIN コードのロックを解除する
- アクセスを禁止する端末を指定・解除する

3.2 機体認証管理ツール

ExLook 機体認証オプションを運用する際に、機体認証管理ツールを使用してパラメータを変更可能です。必要に応じて変更してください。

Web パーツ版 ExLook では、機体認証を使用できません。

クライアント PC から以下の URL に接続して設定を行ってください。

機体認証管理ツールのログオン画面が表示されます。

URL (例)
https://www.exlook.net/udidManage/Logon.aspx

3.2.1 ログオン

ログオン画面でユーザーID、パスワードを入力し、「ログオン」を押下すると、機体認証管理ツールにログオンします。

オンラインサービス事務局から通知された管理者アカウントとパスワードを利用してログオンしてください。

[画面 13]

3.2.2 サイト設定

正しくログオンすると、サイト設定情報を表示します。

- サイト名

設定を更新する既存サイト名をリストから選択します。

機体認証オプションを使用するサイトを追加する場合は、「新規追加」ボタンを選択します。

- 新規追加

機体認証オプションを使用する ExLook サイトを追加します。

- 設定内容を保存

各カテゴリーでの設定後に、サイト設定の「設定内容を保存」を押下することで、設定が保存されます。

[画面 14]

1 サイト新規作成

- 1 「新規追加」ボタンをクリックすると、新規作成画面が開きます
- 2 機体認証オプションを使用する ExLook サイトの名前を入力します
※半角英数字で最大 32 文字まで入力できます。省略および重複する名前は指定できません
- 3 「既定の設定」もしくは、設定値のコピー元となるサイト名を選択します
- 4 「登録」ボタンをクリックします
- 5 サイト設定画面に戻ります

ExLook機体認証 管理ツール

サイト名 bbsystem

設定値のコピー元サイト

既定の設定
abdidauth
abur
abwhitelist

登録 閉じる

[画面 15]

2 基本設定

基本設定

☐ 機体認証オプションを使用する

SSL アクセラレータ ☒ SSL アクセラレータを使用する

[画面 16]

項目名	意味
機体認証オプションを使用する	機体認証オプションを使用する場合、チェックを有効にします。
SSL アクセラレータ	SSL アクセラレータを使用する場合、チェックを有効にします。

3 ホワイトリスト設定

ホワイトリスト設定

☐ 利用前にホワイトリストへ機体IDの登録を必要とする

※詳細設定は [ユーザー管理] タブの [ホワイトリスト管理] から行ってください。

利用者が認証時に入力する情報 ☒ PINコード / ☐ ユーザーID・パスワード

[画面 17]

項目名	意味
利用前にホワイトリストへ機体 ID の登録を必要とする	<p>事前に登録した端末のみで運用する場合は、チェックを有効にします。</p> <p>スマートフォンで機体認証を運用する場合は、この機能を利用することを強くお勧めします。</p> <p>ホワイトリスト機能を有効にするためには、「機体認証オプションを使用する」のチェックを有効にする必要があります。</p>

項目名	意味
利用者が認証時に入力する情報	<p>ユーザーが ExLook ログオン画面に入力する情報を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● PIN コード 初回利用時のみユーザーID・パスワード・PIN コードを入力し、次回以降は PIN コードのみ入力します。 PIN コード設定・マスク設定が適用されます。 ● ユーザーID・パスワード ユーザーID および、パスワードを入力します。 この場合は、ExLook で設定したマスク設定が適用されます。 この場合、ユーザーID・パスワードは機体認証オプションのデータベースに格納されません

4 PIN コード設定

PINコード設定	
PINコード 最小文字数	<input type="text"/> ※半角数字
PINコード 最大文字数	<input type="text"/> ※半角数字
ロックアウトまでの回数	<input type="text"/> ※半角数字
利用者によるPINコードクリア機能	<input type="checkbox"/> 有効にする

[画面 18]

項目名	意味
PIN コード最小文字数	ユーザーが PIN コードに設定する最小文字数を半角数字で指定します。 1-1024 の範囲で設定できます。
PIN コード最大文字数	ユーザーが PIN コードに設定する最大文字数を半角数字で指定します。 1-1024 の範囲で設定できます。
ロックアウトまでの回数	間違えた PIN コードを入力した場合に、ロックアウトまでの許容回数を半角数字で指定します。ロック回数を超えると該当の PIN コードはロックされ、利用不可になります。1-1024 の範囲で設定できます。
利用者による PIN コードクリア機能	<p>チェックをオンにすると、ユーザーが端末から登録済みの PIN コードを削除することができます。</p> <p>PIN コードクリアされた端末は、有効なユーザーID・パスワードを登録することで、別の利用者が機体認証を経て ExLook を利用できるようになります</p>

5 マスク設定

マスク設定	
ユーザーID	<input type="checkbox"/> 伏せ字で表示する
パスワード	<input type="checkbox"/> 伏せ字で表示する
PINコード	<input type="checkbox"/> 伏せ字で表示する

[画面 19]

項目名	意味
ユーザーID	ユーザーが ExLook にアクセスする際に、ユーザーID を伏せ字で表示する場合、「伏せ字で表示する」のチェックを有効にします。
パスワード	ユーザーが ExLook にアクセスする際に、パスワードを伏せ字で表示する場合、「伏せ字で表示する」のチェックを有効にします。
PIN コード	ユーザーが ExLook にアクセスする際に、PIN コードを伏せ字で表示する場合、「伏せ字で表示する」のチェックを有効にします。

3.2.3 ユーザー管理

「ユーザー管理」タブを選択すると、現在の利用者の状態を一覧表示します。
 利用端末の登録方法については、後述「4 端末登録用ページの管理」にて説明します。

ExLook機体認証 管理ツール

サイト設定 ユーザー管理

検索条件

サイト名 ユーザーID 検索 表示順 なし 10 件表示

抽出条件

☐ 削除された情報を表示する

☐ PINコードがロックされた端末 ☐ 利用出来ないとマークした端末

☒ docomo ☒ softbank ☒ au ☒ other

ホワイトリスト管理

ホワイトリスト管理

該当データがありません。

機体認証システム 管理ツール
Big Bang System Corp.

[画面 20]

4 端末登録用ページの管理

「ユーザー管理」タブの端末登録用ページの設定について説明します。

4.1 登録用ページの有効化(ホワイトリスト管理)

最初に携帯端末を登録するための情報を入力します。

- 1 ユーザー情報一覧ページの中ほどにある、「ホワイトリスト管理」ボタンを押下します。



[画面 21]

- 2 以下の画面が表示されます。



[画面 22]

- 「利用者による機体 ID 登録画面の利用を許可する」のチェックを有効にします。
- 利用者が端末を登録するときを使う「登録コード」を設定します。
- 入力後「設定内容を保存」ボタンを押下し、内容を保存します。

上記の設定後、ExLook Online の利用者は、システムに端末を登録できるようになります。以下の画面は、この状態で利用者がスマートフォンから端末登録用の URL にアクセスした様子です。

端末登録用ページへのアクセス URL は、以下になります。

使用機種	URL
携帯電話用	https://www.exlook.net/udid/asp/wl/register.aspx?ExLookSITE=(サイト名)
スマートフォン用	https://www.exlook.net/udid/asp/wlsp/register.aspx?ExLookSITE=(サイト名)

※サイト名を指定しない場合、エラーメッセージが表示されます。

※端末登録用のページと ExLook ログインページの URL は異なります。

[画面 23]

4.2 登録端末情報(ホワイトリスト状態)の表示

登録された端末は、管理ページに一覧表示されます。

[画面 24]

一覧画面の管理情報は以下の通りです。

項目名	説明
サイト	ご契約頂いているサイト名が表示されます。
機体 ID	ExLook Online で管理している機体 ID 情報が表示されます。
キャリア	スマートフォンを登録すると、端末の会社にかかわらず Mozilla と表示されます。 旧来の携帯電話の場合、docomo、au、softbank などご契約のキャリアが表示されます。
エージェント	利用者が使用している端末のユーザーエージェントが表示されます。
有効	登録した端末が有効で、ExLook Online が利用可能な状態である場合、チェックがオンの状態で表示されます。
更新日時	端末情報が更新された日時が表示されます。
登録日時	端末情報を初回登録した日時が表示されます。

4.3 登録端末の無効化

- 1 一覧画面の機体 ID 情報のリンクを選択すると、端末情報を無効にするウィンドウが表示されます。

ExLook機体認証 管理ツール	
サイト	gsab
機体ID	96f78275cc6768161ebdd7a345f68cf9
ユーザーID	
キャリア	KDDI
ユーザーエージェント	KDDI-TS21 UP.Browser/6.0.2.273 (GUI) MMP/1.1
有効	<input checked="" type="checkbox"/>
更新日時	2017/10/31 13:13:13
登録日時	2017/10/30 16:00:26
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="閉じる"/>	

[画面 25]

- 2 ここで「有効」のチェックをオフの状態にし、「適用」ボタンを押下すると、その端末からは ExLook Online を利用できなくなります。「適用」押下後、「閉じる」を押下し画面を閉じます。

4.4 登録端末の無効化の解除

- 1 一覧画面の機体 ID 情報のリンクを選択すると、端末情報を有効にするウィンドウが表示されます。

ExLook機体認証 管理ツール	
サイト	gsab
機体ID	96f78275cc6768161ebdd7a345f68cf9
ユーザーID	
キャリア	KDDI
ユーザーエージェント	KDDI-TS21 UP.Browser/6.0.2.273 (GUI) MMP/1.1
有効	<input checked="" type="checkbox"/>
更新日時	2017/10/31 13:13:13
登録日時	2017/10/30 16:00:26
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="閉じる"/>	

[画面 26]

- 2 ここで「有効」のチェックをオンの状態にし、「適用」ボタンを押下すると、その端末で再び ExLook Online を利用ができます。「適用」押下後、「閉じる」を押下し画面を閉じます。

5 端末情報ページの管理

アクセスを禁止する端末を指定する場合、利用者のユーザーID を元に検索します。

設定変更を行うときは、ユーザーID のリンクを選択してください。

ユーザー状態 更新								
サイト	ユーザーID	キャリア	エージェント	ミス	ロック	利用出来ない端末	更新日時	登録日時
bbsystem	ktani	Mozilla	Mozilla/5.0 (Windows...	0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2016/08/11 19:26:43	2016/08/11 19:26:43
bbsystem	ktani	Mozilla	Mozilla/5.0 (Windows...	0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2016/08/11 19:32:15	2016/08/11 19:32:15
gsab	ktani	DoCoMo	DoCoMo/2.0 P903i(c1...	0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2016/09/01 21:41:01	2016/09/01 20:49:32
gsab	ktani	DoCoMo	DoCoMo/2.0 P903i(c1...	0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2016/09/01 21:43:14	2016/09/01 21:42:26
kamitest	ktani	DoCoMo		0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2016/06/21 13:34:33	2016/06/21 13:31:54
kamitest	ktani	Mozilla	iPhone : CPU iPhone	0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2016/06/21 21:29:38	2016/06/21 20:56:19
kamitest	ktani	Mozilla	iPhone : CPU iPhone	0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2016/06/22 09:12:02	2016/06/22 09:11:41

[画面 27]

5.1 ユーザー状態の変更

一覧画面でユーザーを指定すると、以下の画面が表示されます。

ここでは、利用者の PIN コードロックの解除や、利用者の使用端末を ExLook の利用ができない端末として設定・解除することができます。

- 1 PIN コードロック・ExLook が利用できない設定を行われた端末の解除を行う場合、抽出条件の「PIN コードがロックされた端末」にチェックを入れ、ロックされた端末の一覧を表示します。

[画面 28]

- 2 表示された一覧より対象の ID を選択し、以下の項目のオン・オフを切り替えて設定の変更を行います。

ExLook機体認証 管理ツール	
サイト	gsab
ユーザーID	ktani
キャリア	DoCoMo
ユーザーエージェント	DoCoMo/1.0/N505i/c20/TB/W24H12
ミス回数	2
ロックアウト	<input type="checkbox"/>
利用出来ない端末	<input type="checkbox"/>
更新日時	2018/03/07 11:07:13
登録日時	2018/03/07 10:27:09
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="閉じる"/>	

[画面 29]

項目	説明
ロックアウト	<p>利用者が PIN コード入力を指定回数以上誤ると、PIN コードにロックが掛かり、該当の端末と PIN コードの組み合わせでは操作できなくなります。</p> <p>管理者が「ロックアウト」のチェックをオフにすることで、PIN コードロックを解除します。</p>
利用出来ない端末	<p>該当の端末から ExLook Online を利用させない場合、「利用できない端末」のチェックをオンにします。</p> <p>すべてのユーザーにおいて、該当の端末を使用して ExLook Online にアクセスすることができなくなります。</p>

5.2 ユーザー情報一覧の詳細情報

ユーザー情報一覧のそれぞれの項目について、以下に説明します。

5.2.1 ユーザー状態

ユーザー状態 更新								
サイト	ユーザーID	キャリア	エージェント	ミス	ロック	利用出来ない端末	更新日時	登録日時
bbsystem	ktani	Mozilla	Mozilla/5.0 (Windows...	0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2016/08/11 19:26:43	2016/08/11 19:26:43
bbsystem	ktani	Mozilla	Mozilla/5.0 (Windows...	0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2016/08/11 19:32:15	2016/08/11 19:32:15
gsab	ktani	DoCoMo	DoCoMo/2.0 P903i(c1...	0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2016/09/01 21:41:01	2016/09/01 20:49:32
gsab	ktani	DoCoMo	DoCoMo/2.0 P903i(c1...	0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2016/09/01 21:43:14	2016/09/01 21:42:26
kamitest	ktani	DoCoMo		0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2016/06/21 13:34:33	2016/06/21 13:31:54
kamitest	ktani	Mozilla	iPhone : CPU iPhone	0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2016/06/21 21:29:38	2016/06/21 20:56:19
kamitest	ktani	Mozilla	iPhone : CPU iPhone	0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2016/06/22 09:12:02	2016/06/22 09:11:41

[画面 30]

項目	説明
サイト	現在操作を行っている ExLook サイト名が表示されます。
ユーザーID	利用者のユーザーID です。 ユーザーID のハイパーリンクを選択することで、ユーザー状態変更画面を表示します。
キャリア	利用者が使用している端末のキャリアです。
エージェント	利用者が使用している端末のユーザーエージェントです。
ミス	PIN コード認証に失敗した回数です。 ※「サイト設定」の「PIN コード設定」にて設定回数を指定します。
ロック	登録端末の PIN コードのロックアウト状態です。 通常はチェックがオフの状態、ロックアウト中の場合は、チェックがオンの状態が表示されます。 ロックを解除するには、ユーザー状態変更画面からロックの解除を行います。
利用出来ない端末	利用できない端末として設定されている場合、チェックがオンの状態が表示されます。 利用できない端末として設定するには、ユーザー状態変更画面にて設定を行います。
更新日時	ExLook Online にアクセスを行った最終日時が記録されます。この更新日時は、PIN コードを誤って入力した場合も更新日時として記録されます。
登録日時	利用者が機体認証にてユーザーID、パスワードおよび、PIN コードを登録した日時が記録されます。

5.2.2 抽出条件・検索条件

項目	説明
検索ボタン	ユーザー情報を、指定したサイト名、ユーザーID で検索します。指定したサイト名、ユーザーID が含まれる該当のユーザー情報を表示します。
表示順変更(ソート)ドロップダウン	表示されているユーザー情報を並び替えます。
表示件数変更ドロップダウン	1 ページに表示するユーザー情報の件数を変更します。
PIN コードがロックされた端末チェックボックス	選択した場合、PIN コードがロックされた端末を抽出します。
利用出来ないとマークした端末チェックボックス	選択した場合、利用できない端末としてマークしたもののみを抽出します。
キャリア選択チェックボックス	選択したキャリアのユーザー情報のみ表示します。 (docomo、softbank、au、other)

6 ホーム領域検出ポリシーの構成

Microsoft 365 でフェデレーション ドメインの設定が行われている場合、携帯電話向けの ExLook(cLook)で OAuth 認証を行うには、Azure AD に対して、ユーザーID とパスワードを使用してフェデレーション ユーザーを直接認証できるよう設定する必要があります。本書ではホーム領域検出ポリシーを構成する方法での設定手順を記載します。

※ 別途、ホーム領域検出ポリシーを構成する以外の方法で上記の設定を実施されている場合は、ホーム領域検出ポリシーを構成する必要はありません。

※ 条件付きアクセスポリシーや、Azure Multi-Factor Authentication Service で多要素認証を強制されているユーザーは携帯電話向けの ExLook(cLook)で OAuth 認証を利用できません。また、アプリ パスワードを利用して認証することもできません。

6.1 前提条件

- OAuth 認証利用時の初期設定について

製品管理サイトの[ExLook サイト設定]–[Exchange 設定]で初期設定が完了している必要があります。

初期設定の手順等の詳細は「製品管理サイト 管理者ガイド」を参照してください。

- パスワード ハッシュ同期について

フェデレーション ドメインのユーザーが携帯電話向けの ExLook(cLook)で OAuth 認証を行うには、当該テナント（お客様環境）で Azure AD Connect によるパスワード ハッシュ同期が有効化されている必要があります。

※パスワード ハッシュ同期については、Microsoft 社の Web サイト等にてご確認ください。

- Azure Active Directory PowerShell について

ホーム領域検出ポリシーの作成には、Azure AD v2 モジュールのプレビュー版が必要です。

通常版とプレビュー版を併用することはできません。

通常版をインストールしている場合は、通常版をアンインストール後にプレビュー版をインストールしてください。

※本ガイド作成時点での対応方法を記載しています。Azure AD v2 モジュールのプレビュー版や、最新の情報については Microsoft 社の Web サイト等にてご確認ください。

6.2 ホーム領域検出ポリシーの作成手順

以下のコマンドを実行して、ホーム領域検出ポリシーを作成します。

1. PowerShell を起動します。
2. Azure AD へ管理者アカウントでサインインします。
 - PowerShell
Connect-AzureAD
3. AllowCloudPasswordValidation を許可するポリシー "ExLookDirectAuthPolicy" を作成します。
 - PowerShell
\$allow = "AllowCloudPasswordValidation:true"
\$definition = @"({'HomeRealmDiscoveryPolicy':{\$allow}})"
\$policy = New-AzureADPolicy `
 -Definition \$definition `
 -DisplayName ExLookDirectAuthPolicy `
 -Type HomeRealmDiscoveryPolicy
4. ポリシー ID を変数に格納します。
 - PowerShell
\$policyId = \$policy.Id
5. ExLook のアプリケーション ID から、お客様環境のサービス プリンシパル ID を取得します。
 - PowerShell
\$appId = "71f40668-a871-4b87-b82c-0a3d0abd042d"
\$spId = \$(Get-AzureADServicePrincipal -Filter "AppId eq '\$appId']").ObjectId
6. ポリシーをサービス プリンシパルに適用します。
 - PowerShell
Add-AzureADServicePrincipalPolicy -Id \$spId -RefObjectId \$policyId

6.3 ホーム領域検出ポリシーの削除手順

ホーム領域検出ポリシーが不要になった場合、以下のコマンドを実行して、ホーム領域検出ポリシーを削除します。

1. Powershell を起動します。
2. Azure AD へ管理者アカウントでサインインします。
 - PowerShell
Connect-AzureAD
3. ポリシー "ExLookDirectAuthPolicy" の ID を変数に格納します。
 - PowerShell
\$policyId = \$(Get-AzureADPolicy |
Where-Object {\$_.DisplayName -eq 'ExLookDirectAuthPolicy'}).Id
4. ExLook のアプリケーション ID から、お客様環境のサービス プリンシパル ID を取得します。
 - PowerShell
\$appId = "71f40668-a871-4b87-b82c-0a3d0abd042d"
\$spId = \$(Get-AzureADServicePrincipal -Filter "AppId eq '\$appId']").ObjectId
5. サービス プリンシパルに適用したポリシーを削除します。
 - PowerShell
Remove-AzureADServicePrincipalPolicy -Id \$spId -PolicyId \$policyId
6. ポリシー "ExLookDirectAuthPolicy" を削除します。
 - PowerShell
Remove-AzureADPolicy -Id \$policyId

以上